

2023年度関東大学ラグビー対抗戦Aグループ明早戦の応援観戦報告

12月の第一日曜日に開催の関東大学ラグビー対抗戦Aグループの第99回「明治大学-早稲田大学」戦は、陽光が降り注ぐ国立競技場で行われました。入場者数は32千人余りで、校歌の大合唱で幕を開けた伝統の一戦には多摩支部から14地域支部94名が参加し、バックスタンド1階左よりに陣取り、勝利を祈念し大声援を送りました。

試合内容は、帝京戦での反省を踏まえ、鉄壁なラインディフェンスを敷き、開始早々にはマイボールラインアウトからモールを形成し、フッカーがモールサイドを突いて初トライを挙げ、その後も波状攻撃を加え、前半は27-3と大きくリードして終了しました。ハーフタイムでは、明大と早大のチアリーダーの演技が華やかに行われ、後半に入ってから、明大が先制点は取りましたが、25分過ぎから早稲田の猛攻に晒され8点差まで追い上げられました。しかし、終盤には最後の力を振り絞って明大が2トライ追加し、早稲田の反撃を粘り強いディフェンスで守り切り、58-38でノーサイドとなりました。対抗戦Aグループでは、全勝優勝の帝京大に次ぐ2位となりました。

次の決戦は、12/23の全国大学ラグビーフットボール選手権大会準々決勝となります。本日の試合は、明治の良い面と悪い面の両方が出てしまい、冷や冷やした試合となりましたが、帝京大にリベンジすべく、さらにディフェンスを強化して『栄冠』を勝ち取れるように頑張ってもらいたいと思います。

年明け早々には、箱根駅伝本戦と合わせ楽しみが増えます。引き続き応援を宜しくお願い致します。

<明早戦観戦状況>



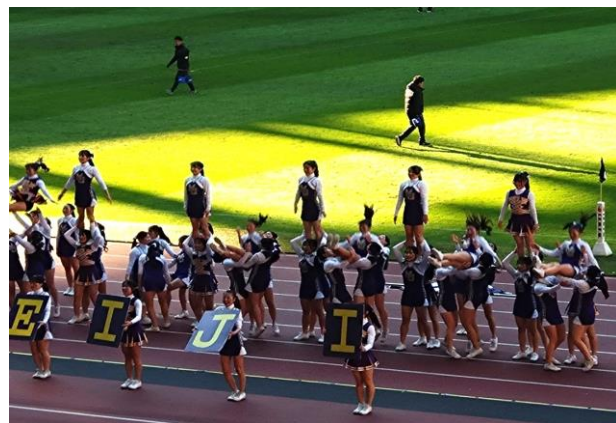
試合前の練習風景



モールの攻防(サイドを突いてトライ)



ラインアウトの攻防(明大の優勢)



明大チアリーダーの応援

